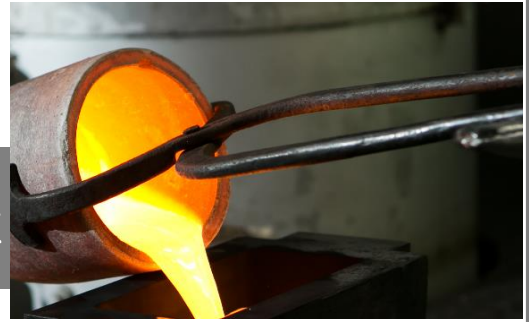


製造職

製造職の仕事



求められるモノづくり

工業用貴金属製品は、お客様それぞれの要求にもとづき、品位・材質や形状・寸法、機械的・電気的特性、さらに外観・表面状態などの品質特性を満たすよう標準化した工程に従って製造しています。

確かな腕、培われた経験

製造工程には、原材料の配合、板や線への加工、熱処理、プレス加工、溶接、組立など様々な作業がありますが、お客様の求める製品を仕上げるための管理と検査が徹底されています。そこには長年培われてきたプロフェッショナルの確かな腕と目が活かされています。



“5M1E”

工程の管理に重要な要素は、“5M1E”。すなわち、人 (Man)、設備 (Machine)、方法 (Method)、材料 (Material)、測定 (Measurement)、および環境 (Environment) です。製造の現場では、これらの要素をきちんと管理し、計画的かつ安全に作業を行い、厳しい品質管理を経て指定の納期までに製品をお届けするように努めています。

製造職

社員インタビュー



Q どのようなお仕事をされていますか。

A 私は主に工業用製品、歯科用材料、宝飾品材料の基礎となる素材作りを担当しています。材料毎に炉体作りをし、金・銀・プラチナ・パラジウムなどの原材料を連続鑄造という特殊な装置を使って溶かし、品質を監視しながら用途別の形状に引き出す加工を行っています。

Q 徳力本店に入社を決めた理由を教えてください。

A ものづくりに興味があり、また親戚の多くが「鉄道関連」で働いていたことから、就職活動時には「ものづくり」×「鉄道関連」という軸で探していました。この会社は鉄道関連の部品だけではなく、医療、生活を便利にするITに関わる製品など、日常生活には欠かせない関連部品を作っていることを知って興味を持ち、志望しました。

Q お仕事の難しいところはありますか。

A 既に量産している製品の場合は、安定した品質を保って加工できますが、新規開発品となると求められる品質を実現するまでは細かな条件出しが必要で、一筋縄ではいきません。新製品を開発するために試行錯誤を繰り返し、何度もチャレンジする必要があり、新しいものを作り出すことに難しさ、奥深さ、やりがいがあると思います。

Q 最後に、徳力本店の魅力について教えてください。

A 入社後に感じたことですが、同じ志を持った同期と非常に仲がいいことも魅力です。他部署だからこそ、お互いの技術の知識などを共有できます。仲間の存在もやりがいのひとつになっています。

製造職

社員インタビュー



Q どのようなお仕事をされていますか。

A 伸線加工された線材を、曲がりやうねりのないように直線加工機を使って真っ直ぐに加工する業務を担当しています。

Q 徳力本店とは、どのような会社でしょうか。

A 徳力本店の特色をあげれば、まず創業300年という長い歴史に培われた伝統。そして家族的な雰囲気働きやすい職場という点でしょうか。入社早々、プライベートで大きなケガをしてしまい、なんとギプスをしながら研修を受けることになったのですが、職場の皆さんから助けていただきながら乗り切ることができ、人間関係の素晴らしさを実感しました。

Q お仕事のやりがいについて教えてください。

A 私は工業高校出身ですが機械科ではなかったので、いろいろな機械を操作した経験がありませんでした。しかし、作業の積み重ねで技術が身に付いていき、作るのが難しい製品ができた時、これは自分にしか出来ないと思えた時、とてもやりがいを感じます。

Q 徳力本店のおすすめポイントと言えば、何でしょうか。

A スポーツ関係の部活動などが盛んに行われているところでしょうか。仕事以外でも先輩、後輩とコミュニケーションを取ることは大切だと思いますので、徳力本店へ入社を考えている方にも、ぜひ積極的に参加して欲しいです。

製造職

社員インタビュー



Q どのようなお仕事をされていますか。

A 製品製造の際に発生した廃材やお客様から買い取らせていただいた宝飾品から、金・銀・プラチナなどの貴金属を回収・精製することが私の仕事です。複数の貴金属が含まれている合金などから単一元素のみを取り出すのは想像以上に困難。薬品を用いていくつもの溶解工程を経なければなりません。不純物の少ないきれいな貴金属を精製できたときは、達成感を感じることができます。

Q お仕事の難しいところはありますか。

A 不純物が上手く取り除けず、規格外になりやり直しをしなければならないことも少なくありません。同じ金属の場合でも形状や大きさが異なると、精製の方法も変わってきます。特に白金などの難易度の高い場合にはなかなか99.95%をクリアできず悪戦苦闘することもあります。でも上手くいった時には何ものにも代えられない達成感が感じられます。

Q 現在の自分自身の課題は何かありますか。

A まだまだ自分で解決策が見つけられないことも多いため、先輩や上司のようにもっと知識を増やし、様々な経験を得ることで効率的かつ安全に作業を進め、さらなる製品製造に貢献できるようになりたいです。

Q 最後に、徳力本店の魅力について教えてください。

A 徳力本店には貴金属で人々の生活を支えてきた約300年もの歴史と実績があります。また月に数10キロにも及ぶ貴金属を取り扱うなど、貴金属会社にしかない貴重な体験を積めることも魅力に感じます。

技術職

技術職の仕事



様々な特性を発揮する材料を生み出す

工業用貴金属製品は、基本的にお客様から注文を受けて生産に取りかかる「受注生産」型です。お客様からの「こんな部品が作れないか」「こんな材料は出来ないか」という打診にお応えする事業形態です。技術部門はまず、お客様の要望が実現可能かどうか判断しなくてはなりません。そのため、素材の研究・実験・試作・評価を繰り返し実施。量産可能となれば製造工程まで標準化する、幅広い業務を行っています。

最新を追い続ける

工業用貴金属製品が使われるのは、重電・弱電関連・半導体・メッキ・触媒など多岐にわたる分野です。近年は、どの分野も技術革新や環境対応、市場の競争が激しさを増し、製品モデルチェンジがますます加速しています。



現在、そして未来へ

お客様からは部品の小型化、より良い素材への変更、コストダウンといった多くの要望が寄せられます。こうした要望に応えるため、製造に関するあらゆる要素を検討し、研究を積み重ねている技術部門。日々の地道な努力が、貴金属製品の新たな可能性を生み出し、先進技術の開発につながっています。



技術職

社員インタビュー



Q どのようなお仕事をされていますか。

A お客様から製造のご依頼をいただいた後、製品の試作・検証を実施する仕事です。要望通りのスペックが実現できていることをお客様に確認していただき、安定性や耐久性の確認、量産化の検討を経て、生産ラインに乗せていくことがミッションになります。

Q 採用面接の印象を教えてください。

A 他社の面接とは違い、面接はものすごくフランクでした。面接に対して非常に苦手意識を持っていましたが、リラックスして本来の自分の言葉で話すことができました。学歴や知識のレベルではなく、人間性を評価してもらえていることができた選考でした。

Q 大変だった仕事の思い出などはありますか。

A 入社2年目にある製品の製法確立、評価、生産ラインに移すまでの検討を任せられました。お客様との間で意見の食い違いがあり、様々な問題も起こりましたが、上司や先輩方のフォローをいただき、最終的にはお客様からご信頼をいただき、予定よりも多くのご注文をいただく事ができました。2年目で実験から製品化まで、一貫して携わらせてもらえ、良い経験をさせて貰えたと思っています。

Q 最後に、徳力本店の魅力について教えてください。

A 新しい知識を得るために会社として率先して、展示会やセミナーにも参加しており、必要な費用は上司に相談し、業務で役に立つことであれば会社が負担してくれます。このように技術開発者として成長できる環境が当社には整っていると思います。